

地域情報誌
2012年8月
(No4)

DE す が ね

〈編集・発行〉生きがいのある須金をつくる会



(写真左：「ほたるのすがね」乗船前の様子 写真右：「ホタルバス」しし肉バーベキュー)

須金の宝！ほたる関連イベントが2つ開催されました

☆ 「ほたるのすがね」 (夜の錦川をラフティングボートでナイトクルージング)

参加者の皆さまから、「生まれて初めてこんなにホタルを見ました」、「感動した！」など多くの称賛を頂きました。

須金の地域資源を活かして他地区の人に喜んでもらいたい、地元の人をもっと誇りを持てるまちにしたい。そんな活動をこれからも続けていきます。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。(文/福田陽一)

☆ 「ホタルバス」

6月23日の「ホタルバス」ツアーは、昨年の秋祭りで協力いただいた「うちの郷」メンバーと須金の有志による合同での開催でした。バス参加者は37名、地元および現地参加者が約50名とおおいに盛り上がりました。

まちなか歩きに始まり、しし肉バーベキュー、須金のエンターテナーによるコンサート、帰りは竹灯籠の幻想的な灯りの中を歩き、最後にホタルの観賞で締めくくりました。みなさん感動して帰られました。

やはり須金のホタルは世界一！？(文/高橋勝己)

人物紹介 -神田靖夫さん-



写真上：ご自宅前にて
写真下：お部屋の航空写真と

(インタビュー：須金公民館 周山健太郎)

Q1. 自衛隊にお勤めされていたとお聞きしましたが。

A1. 中学校を出て防府教育隊で勉強し、航空自衛隊の整備士として浜松、宮崎、沖縄で勤務していました。中でも沖縄では15年間を過ごしました。

Q2. 退官されてからはすぐに須金に戻られたのですか？

A2. 平成11年2月に退官しました。防府に自宅がありましたが、「街の光よりホタルの光」と思い、平成16年8月に須金に戻りました。歳を取ったということでしょうか。(笑)

Q3. ご自宅には筋力トレーニング用のいろいろな道具がありますが。

A3. 沖縄時代には空手道場(小林流)に通っていたので、今も適度に体を鍛えています。沖縄にはたくさん道場があるんですよ。

Q4. ご趣味は？

A4. 若い頃は、長距離走をしていました。今は桜ですかね。5年前、自宅前の山の斜面に桜の木を120本植えました。もう数年できれいに咲くと思います。みんなに見てもらいたいですね。

「共に支えあう福祉の輪」須金地区社協会長就任にあたって 俵 雅香

私は、5月の理事会において会長の要職を拝命いたしました。昨年度まで、長年多くの実績を重ねて来られました福田孝弑前会長さんの後任ということで、正直荷が重いと感じています。

至らない点も多いかと思いますが、前会長の功德を無にしないよう、任期を精一杯やりぬこうと思っています。

市の考え方にあるように、近来自分や家族の努力(自助)と公的な支援(公助)に加え、地域の中での助け合い、支え合う地域づくり(共助)が求められています。

「こころ」と「こころ」がつながるホットな地域に向かって頑張るつもりです。

どうか皆様の温かいご支援とご協力を、そしてご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



「いなかの学校」開催！！

7月14～15日、1泊2日のスケジュールで須金にて子供向け自然体験学習「いなかの学校」を開催しました。

雨でカヌーは中止になったものの「アメリカ人教師の英語で遊ぼう」「レザークラフト体験」「亀山八幡宮で黒神神主による日本の成り立ち」「観音時で座禅体験」「ツリークライミング」「葉っぱで見分ける樹木」などの体験メニューに、食事は子供達の手作りによるソーメン流し、ダッチオープン料理など須金の自然と食を思いきり楽しみながら学習しました。(文/福田陽一)



(写真：英語で遊ぼう)

「地区福祉員交流研修会の報告」

平成24年6月26日(火)に下関市心身障害者福祉作業所「たまねぎハウス」において、障害者の自立意欲の向上と社会参加の促進について学びました。

帰りには角島灯台公園、道の駅北浦街道にも立ち寄りしました。



(写真：作業所内の様子)

須金フルーツランドだより

一斉開園は8月25日(土) ※一部農園は早くに開園済み

今年は春の暖かさと梅雨の雨がしっかり降ったおかげでとっても大きく実りました。研修生として福本夫婦が新規就農したり、後継者として山本農園の息子さんが帰って来たり、農園では若い人たちもたくさん頑張っています。

なお、昨年より須金フルーツランドのロゴマークを一新しました。

このロゴマークで看板も更新します。今度とも須金フルーツランドをよろしくお願いします。

(文/福田陽一)



須金フルーツランド
Sugane Fruit Land

★イベント情報「須金なし・ぶどう祭り」

今年の「須金なし・ぶどう祭り」は8月25日(土)夕方5時から須磨小学校にて。恒例の梨1000個の無料配布。びっくりするような景品盛りだくさんの抽選会。

また今年初の試みとして、県内のちびっこダンスチームが熱演を繰り広げる、

「須金フルーツダンスコンテスト」開催！バザーや露店も多数出店、夏の思い出の締めくくりは「須金なし・ぶどう祭り」で!!

須金地区主な行事予定（8～9月）

8月

- 8月 2日（木）・産業観光ツアー
（紙漉き体験）
- 8月14日（火）・物故者追悼式
盆踊り大会
- 8月20日（月）・コミュニティ理事会
- 8月25日（土）・須金なし・ぶどう祭
- 8月28日（火）・やまびこ号巡回日（須磨小）

9月

- 9月 9日（日）・須金地区敬老会
- 9月15日（土）・やまびこ号巡回日（須磨小）
- 9月24日（月）・コミュニティ理事会
- 9月27日（木）・大津島・須金地区交流会

「掲示板」

☆売りたい空家、貸したい空家はありませんか？移住者の増加に向けて情報発信します。

お問い合わせは須金公民館 周山（すやま）まで

TEL 0834-86-2201 / FAX 0834-86-2145

須金せせらぎ短歌会～今月の歌～

☆早々と 梅もぎおれば笹百合の
ひそと咲きおり 小藪の中に
河村ヨシ子

☆錦川 ほたるとび交う 須万の里
倉光タケヨ

☆やすらぎぬ
ことぶき会で あめふりに
サロシ寿会

※DE すがね無料メール配信

メールでもこの情報紙は読めます！申し込み方法はdesugane@gmail.comへ配信希望と書いたメールをするだけ。励ましや感想もこのメールアドレスで受け付けています。

須金で育て、いま全国でがんばっている皆さんの元へ届けましょう！



特別連載 須金歴史探訪

庚申塔（こうしんとう）

文 高橋 勝己

北山にはいろいろな石碑や塔があります。なかでもこの猿田彦大神と彫られた石塔は大きく目を引きまします。これはいったい何を意味するのでしょうか？

室町時代になると六十日ごとに訪れる庚申（かのえさる）の夜に健康長寿を祈念する講を結ぶようになりました。そこから庚申塔造立が始まったそうです。庚申待ちの行事や庚申塔造立は人の延命招福にあります。村の講中のものが徹夜で酒食をとることから村民の連帯につながったそうです。

江戸時代前、中期のものは青面金剛や猿などの像が刻まれていましたが、後期になると文字だけが刻まれたものが多くなってきました。

北山のこの庚申塔は道案内にかかわる神である猿田彦大神の文字が彫られていることから、江戸時代後期以降のものと思われる。



写真：北山の庚申塔

編集後記

6月のホテルのイベントは大盛況でした。多くの方が来られて須金のホテルの素晴らしさを堪能されたことと思います。

ただ残念なのは兼田のあの場所に、ライトを点灯したまま車が進入し、ホテルの魅力が半減してしまうことです。須金の財産であるホテルを大切に、静かに観賞できるような対策が必要だと思っています。

（高橋勝己）